

武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科 在学生アンケート結果

(回答者 8 名:修士 3 名、博士 5 名)

1. 1 年間の授業を振り返り、ご意見やご希望、あるいはご感想がありましたら、自由にお書きください。

- ・オンデマンドの授業より、対面（オンライン参加可能）の授業を充実させていただきたい。【M】
- ・いろいろな事を学ばせていただき、大変貴重な時間でした。今年もよろしくお願いいたします。【M】
- ・先生方、助手の方々、クラスの皆さんのおかげで学び続けることができ、感謝しております。登校するため職場を早退するなどの勤務調整には苦勞いたしました、何とか両立できました。授業開始時刻に遅れてリモートにアクセスすることも多く、ご迷惑をおかけしました。学ぶことが楽しいと感じる一年間でした。【M】
- ・投稿論文に追われた 1 年でした。ゼミの仲間と情報を共有したり、励まし合ったりして取り組むことができ、一人ではないことで救われることが多くありました。【D】
- ・大変実りのある 1 年間でした。ありがとうございます。【D】
- ・指導教授に柔軟に対応いただきました。【D】
- ・個別の進度や仕事の状況に合わせて、丁寧にご指導いただき、感謝しかありません。【D】

→ 対面授業の充実をとの要望をいただきました。もちろん教員としては授業の充実に努めなければませんが、どのような点を充実させればよいのか、もう少し具体的に書いていただけると、今後の改善に役立てやすくなります。

2. ゼミ所属教員の研究指導について、ご要望等がありましたら、自由にお書きください。

- ・手厚くご指導いただき、感謝しております。人数が少ない入学年度には、ゼミ間の交流（相互に意見交換ができる等）の場を設けても良いのではないかと思います。【M】
- ・とても熱心にご指導いただきました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。【M】
- ・今後ともよろしくお願いいたします。【M】
- ・いつもご丁寧に指導いただき、また授業に関する連絡等もこまめにいただき感謝申し上げます。それぞれの学生に合わせた対話的問いかけにより全員が新たな視点を得ながら学んでいると感じています。【D】
- ・いつも丁寧に素早くご対応頂き感謝しています。【D】
- ・いつもご指導いただき感謝しております。【D】
- ・丁寧かつ真摯に相談に乗っていただき、指導いただきました。【D】
- ・このままずっと私が博士論文を書ける日まで、いていただきたいのです。【D】

→ 修士課程に関しては、ただ今のところ、2 年生 6 月の全体特研、10 月の中間発表会、博士後期課程に関しては 9 月の研究発表会が他のゼミ生の研究を知り、他の教員からのコメントを得られる機会となっています。これ以外に、いただいたようなゼミ間の交流といった取り組みも面白いかもしれません。あるいは、学生間で自主的にそうした交流会を設けてもらうこともできますので、学生間でも話し合ってみてください。

3. フレックス授業（対面とリモートの混合）を受けた方に伺います。このような授業の仕方についての意見や感想をお聞かせください。

・勤務しながら学び続けるためには、大変有難いです。音声が届きにくい問題だけご対応いただけたら有難いです。

【M】

・フレックス授業のおかげで仕事とのスケジュール調整を行いながら授業を受けることができました。【M】

・遠方に在住の私にとってリモートはありがたいです。しかし、対面授業でクラスの方と討議し、直接先生の授業を受けると対面の方が良いなあと思いました。勤務先と調整がつけば、できるだけ登校したいです。もし可能でしたら、リモート接続時間を授業の前後に少し余裕を持たせて繋げていただけたら、クラスの方ともお話できるので嬉しいです。【M】

・利便性が高くありがたいです。基本的に対面で受講するようにしていますが、対面受講が難しくなった場合に欠席せずに済みますし、ゼミにいらっしゃる遠方の方々には特に必要です。【D】

・状況に合わせてリモートを活用いただきました。【D】

・遠方におりますので、大変助かっております。今年度はつながりにくいとか、音声が届きにくいということがなかったように思います。【D】

・遠方に在住のため、大変ありがたい授業環境だと思っています。できるだけ対面での参加も考えていますが、リモートのおかげでゆとりを持って授業に専念できました。【D】

→ ハイフレックス授業については、肯定的な意見を多くいただいております。いただいた意見も取り入れながら、より充実した授業となるように取り組んでまいります。

4. 修士課程の土曜日の授業では、オンデマンド形式の授業を取り入れました。こうした授業についての意見や感想をお聞かせください。【修士課程のみ】

・「単位の取得をしやすい」とメリットはあるのかもしれませんが、ただ、すべての回をオンデマンド形式にするのではなく、ライブ授業を挟んだり、発表の場や意見交換の場を設けたらより良いのではないでしょうか。【M】

・オンデマンド授業は動画を視聴する時間を選ばないので本当にありがたいです。また、オンデマンドの先生方も受講者の質問に答えてくださる機会を設定していただくなど、本当にありがたかったです。【M】

・私の職場は土曜日が休日なので、土曜日は勤務先に気を使わずに登校できる曜日です。もしも、土曜日に対面で受ける授業もあれば、直接先生や他の学生の方と討議できるので、登校したいと考えております。その方によっては、土曜日が出勤日であったり、学会などが重なることもあると思います。【M】

→ オンデマンドについては修了生からも様々な意見をもらっています。

既にオンデマンド授業でも、受講生から質問を受けて答えるといった工夫をされているなど柔軟に対応されている授業もあるようですが、上にいただいたような意見を取り入れた授業を展開できるかどうかについても、今後、検討してまいります。

土曜だからこそ、多くの院生が集まることができ、対面で話し合える、授業後に交流ができるといった意見があることも承知しています。ただ、様々な家庭や職場の事情、教員にとっても学会や研究科行事によるコマ数確保といった課題もありますので、どのようなあり方が望ましいのか、継続的に考えてまいります。

5. 本研究科のカリキュラムや授業内容について、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

・他学科の授業を関連科目で単位認定するのではなく、選択科目の単位認定にするなど検討いただいても良いのではないのでしょうか。【M】

・アカデミックライティング強化や世界の英語文献にアクセスするリサーチ法等の授業もあると良いかと思います。【D】

- ・カリキュラムや授業内容ではないですが、博士論文の事務的なこと、ボリュームや申請の手順や審査について、入学後に早い時期（申請前）に希望者だけでも説明会があると、今後の流れや心づもりができて計画がしやすいと感じる。不明なことが多い。【D】

→ ・博士課程の場合、設定授業数が少なく、全体でアカデミックライティングや検索についての授業を新たに設定することは難しいのが現実です。基本的には、指導教員と相談され、そうした指導を取り入れてもらうようにしてください。研究科では、こうした意見があることを共有しておきます。

・博士論文についての説明会については、検討してまいります。現在のところ、入学式の後に入学者と論文提出予定者へのオリエンテーションを行っているのみとなっています。当日は、行事が込み入っていますので、D2 以上を対象として、他日（土曜）に設定できればと考えます。この点については、研究科で検討し、お知らせいたします。

6. 本研究科及び本学の設備や研究環境について、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

- ・廊下の電気が EV 前すぐになく、夜間に行くとき少し怖いです。静かに自習できるスペース、談笑できるスペース（PC と印刷が可能な）の区別があれば嬉しいです。倫理審査申請書を電子印鑑許可、あるいは学生の印鑑不要としていただけたら嬉しいです。【M】
- ・PC 室やラウンジなど多用させていただいています。【M】
- ・遠方在住でなかなか登校できず、もっと利用していきたいと考えております。【M】
- ・オンライン授業を受講且つ声出しが可能になる個室ブースがあると良いのではと感じます。キャリアセンター内の面接用ブースのようなものか、小さい部屋を予約制で借りられようにする、等。【D】
- ・遠方より通うため、資料室の書籍を二週間以内に返却するのが難しいのですが、柔軟にご対応いただき大変助かりました。【D】

→ ・倫理審査書類の印鑑の使い方等については、倫理審査委員会より前向きに検討する旨を聞いておりますので、倫理審査委員会からのお知らせをお待ちください。

・現在のところ、研究所棟に個室ブースを作ることは難しいかと思います。ヘッドホンなどを使用し、空き教室を利用するなどしてください。

・図書貸出については、貸出期間（通常 2 週間）の延長措置を取りやすくします。詳しくは、貸出時に確認をしてください。

最後に：

アンケートへのご協力に心より感謝いたします。また、回答が遅くなりましたこと、お詫びいたします。在学生の皆さまからいただいた貴重な意見・要望を、本研究科における教育・研究指導や学修環境の改善に活かしてまいります。このアンケート以外であっても、意見や要望がありましたら、どうぞ遠慮なく教職員へお寄せください。

なお、施設・設備面での改善については難しいこともありますので、予めご了承ください。

臨床教育学研究科 自己評価委員会
(2026 年 7 月)